

令和5年度 第2回 市川市社会福祉審議会 会議録

1. 開催日時

令和5年8月18日(金) 14時00分～15時30分

2. 開催場所

市川市役所第1庁舎5階 第2委員会室、会議室5

3. 出席者

【委員】

岸田委員(会長)、山下委員(副会長)、石原委員、岩松委員、菊田委員、木下委員、久保木委員、佐藤委員、松尾委員、松丸委員、松村委員、丸谷委員、村山委員、森高委員、山極委員、山崎委員

【市川市】

菊田福祉部長、荒井福祉部次長、池田福祉部次長、寺島地域共生課長、奥野地域包括支援課長、尾瀬介護保険課長、加藤障がい者支援課長、内池発達支援課長ほか

4. 傍聴者

0名

5. 議事

(1)令和4年度進捗状況報告について

①第4期市川市地域福祉計画【2018年度～2023年度】

②第8期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画【2021年度～2023年度】

③第4次いちかわハートフルプラン(市川市障害者計画・第6期市川市障害福祉計画・第2期市川市障害児福祉計画)【2021年度～2023年度】

(2)令和6年度地域密着型サービス等の整備について

(3)その他

6. 配付資料

- ・資料1-①-1 第4期地域福祉計画【2018年度～2023年度】の進捗状況報告について
- ・資料1-①-2 第4期市川市地域福祉計画 進行管理事業 令和4年度進捗状況について
- ・資料1-①-3 第4期市川市地域福祉計画 各進行管理事業詳細資料(個票)

- (令和4年度分)
- ・資料 1-②-1 第8期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況報告について
- ・資料 1-②-2 第8期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 進行管理事業 令和4年度進捗状況について
- ・資料 1-②-3 第8期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 各年度の進捗状況
- ・資料 1-②-4 第8期 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画事業別個票 (令和4年度分)
- ・資料 1-③-1 第4次いちかわハートフルプランの進捗状況について
- ・資料 1-③-2 市川市障害者計画の具体的な施策に係る進捗状況について
- ・資料 1-③-3 市川市障害者計画具体的な施策 重点施策について(令和4年度)
- ・資料 1-③-4 市川市障害者計画 具体的な施策 重点事業の進捗状況について
- ・資料 1-③-5 市川市障害者計画 具体的な施策 重点事業(個票)
- ・資料 1-③-6 市川市障害者計画 具体的な施策 その他の事業の進捗状況について
- ・資料 1-③-7 第6期市川市障害福祉計画・第2期市川市障害児福祉計画 成果目標と活動指標について
- ・資料 1-③-8 第6期市川市障害福祉計画・第2期市川市障害児福祉計画 障害者総合支援法に係るサービス等について
- ・資料 1-③-9 第6期市川市障害福祉計画・第2期市川市障害児福祉計画 児童福祉法に係るサービスについて
- ・資料 2 令和6年度地域密着型サービス等の整備について
- ・当日配布資料 第8期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画中間アウトカム・最終アウトカム評価一覧 (令和4年度分)

7. 議事録

(午前 14 時 00 分開会)

発言者	発言内容
	<p style="text-align: center;">(1) 令和4年度進捗状況報告について</p> <p style="text-align: center;">①第4期市川市地域福祉計画【2018年度～2023年度】</p>
岸田会長	<p>それでは、議題(1)「令和4年度進捗状況報告について」についてです。まずはじめに、「①第5期市川市地域福祉計画」について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
地域共生課長	<p style="text-align: center;">(資料1-①-1から資料1-①-3に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。</p>
岩松委員	<p>地域福祉の基盤を作るには、啓発活動を増やし、地域の方に都度発信していく必要があります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、集まって相談などをする機会は減ったかもしれませんが、地域で支えあうという考え方は継続し、啓発を繰り返さなければいけないと思います。</p> <p>地域の資源である活動団体はいろいろある一方、そういった現場の団体への発信は少ないように感じますので、地域の方が活動に参加をするためにはまず、地域の方への理解のための啓発活動にアプローチをしていただきたいと思います。</p>
地域共生課長	<p>地域福祉コミュニティの充実のために、啓発活動は重要であると認識しておりますので、広報いちかわなどの媒体を用いて、高齢者クラブの活動内容などを周知していきたいと思います。</p>
岸田会長	<p>Webサイトなどで周知をさせていただいていると思いますが、なかなか地域の方へ届いていない現状もあると思いますので、よりよく知ってもらい、活動に参加してもらうために、ぜひいろいろな啓発方法をご検討ください。</p>
村山委員	<p>福祉サービス苦情解決事業についてですが、福祉サービス苦情解決事業運営委員会や研修を通じて、どのように苦情解決に反映しているかといった中身が大切ですので、取り組んだことや、取り組んでみてうまくいったことなど、具体的な事例の記載があった方が良いと思います。</p>

<p>地域共生課長</p>	<p>また、本来は第三者委員がその場を訪問したり、利用者に意見を聞くなど、いわゆるアウトリーチ的行動が必要だと思いましたが、そういった施設や利用者の状況を見るような行動はされているのでしょうか。</p> <p>こちらについては、所管が多岐にわたっているので、詳しくはお答えすることはできませんが、研修の内容や、研修を通じて何ができるようになったかなどについては、今後記載ができるように検討していきたいと思えます。</p> <p>また、事業所にもさまざまな苦情があると思えますので、それらを踏まえて今後の進捗を考えてまいります。</p>
<p>松尾委員</p>	<p>地域活動の担い手養成研修についてですが、新型コロナウイルス感染症の影響により評価は低くなっているようです。</p> <p>自治会や民生委員、地区社会福祉協議会の中でもご尽力をいただき、活動を進めていただいておりますが、例えば新しい取り組みを始めた時にも、新たな担い手不足が大きな課題で、NPO団体や地域の学校でも、いろいろな人材の発掘、育成は進めていく必要があると感じております。</p> <p>一方、計画全体の評価としては、成年後見制度利用促進基本計画の策定や、重層的支援体制整備事業が7月から始まったことから、高く評価できるのではないかと思います。</p>
<p>地域共生課長</p>	<p>担い手不足は非常に大きな課題です。しっかりと担い手を確保し、研修等を通じて育成していきたいと考えております。</p> <p>また、成年後見制度利用促進基本計画の策定や重層的支援体制整備事業についても、さらに体制を強化できるよう今後も組んでいきたいと考えております。</p>
<p>岸田会長</p>	<p>大学に通う学生からの支援も役に立っております。</p> <p>また、防災に関しては、和洋女子大学と市川市が連携をして地域の防災活動をしておりますので、福祉分野でも人材が必要な時はお声がけいただければと思います。</p>
<p>木下委員</p>	<p>避難行動要支援者対策事業と福祉避難所について質問がございます。</p> <p>避難行動要支援者対策事業については、評価がAとなっておりますが、名簿登録者数がだんだん減ってきております。</p> <p>名簿を活用していく自治体の増加や名簿についての理解が不十分という点が課題と記載されておりますが、これは何年も同じような評価となっております。こちらについての具体的な策はあるのでしょうか。</p> <p>また、個別避難計画の策定についての進捗状況についてお聞かせください</p>

<p>地域共生課長</p>	<p>い。</p> <p>最後に、福祉避難所について、福祉避難所訓練を実施したと記載されておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響の中でどのように実施したのでしょうか。また、マニュアルのたたき台が完成したとのことですが、障がい者団体に内容を情報提供をいただく、もしくはマニュアルについて相談に伺わせていただくことが可能でしたら、ぜひお願いしたいと思えます。</p> <p>名簿の登録者数についての増減は、過去から現在までほぼ一定であり、大きな増減はございません。新型コロナウイルス感染症の影響により、登録者数が減ってしまっていることもあるかもしれませんが、名簿についての周知を行い、今後も登録をしていただけるように努めたいと思えます。名簿の活用についても、自治会や民生委員の方へお話をさせていただき、理解をしていただけるような共助の仕組み作りを考えております。</p> <p>また、個別避難計画の作成につきましては、今年度に入りまして、自治会の方にご協力をいただき、数名の方の個別避難計画を策定いたしました。</p> <p>また、福祉避難所の訓練につきましては、昨年5月30日に南行徳公民館で実施をいたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、職員だけでの実施となりましたが、テントの組み立てなどを行い、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考えた訓練を行いました。</p> <p>また、マニュアルについてもたたき台が完成し、今年度も訓練を実施したところです。今後もマニュアルについては肉付けをし、関係団体へ情報共有をさせていただき、訓練が実施できればと考えております。</p>
<p>岸田会長</p>	<p>成年後見制度利用支援事業について、目標値が1,570件に対して2,815件の実績であり、生活困窮者自立支援については490件の目標に対し827件の実績があったとのこと、活動が大変活発に行われており、成年後見を必要とする方や生活困窮者が増えているという実態が良く分かります。</p> <p>一方で、目標が実績よりかなり低く設定されているように見受けられますので、今後は実態を考慮した目標をぜひ考えていただきたいと思います。</p>
<p>山下委員</p>	<p>福祉サービス苦情解決事業についてですが、各福祉施設に苦情解決責任者を置いているとの記載がありますが、第三者委員の選任はすべての施設で置かれているのでしょうか。施設の方も苦情の内容には困っており、施設自体の課題よりも、利用者やご家族の苦情といった複合的な課題が全国的にもよくありますので、責任者のフォローアップなどを検討しなければならない段階かと思えます。</p>

地域共生課長	<p>お話をいただいた内容については、所管部署にも伝え、検討してきたいと思えます。</p> <p style="text-align: center;">②第8期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 【2021年度～2023年度】</p>
岸田会長	<p>次に、「②第8期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画【2021年度～2023年度】」について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
地域包括支援課長	<p style="text-align: center;">(資料1-②-1から資料1-②-4、当日配布資料に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。</p>
岩松委員	<p>認知症本人ミーティングとはどのようなものでしょうか。</p>
地域包括支援課長	<p>認知症本人ミーティングとは、認知症の方にご参加をいただき、日頃の生活での困りごとなどを共有していただく場です。</p>
岩松委員	<p>認知症に関する困りごとを抱えた方は多くなっておりますので、このようなミーティングを制度的に行い、また、各地区でも呼び込みを行っていただければ、地域でサポートをする側も大変助かりますので、ぜひお願いいたします。</p>
森高委員	<p>65歳以上の新規認定者の年齢が上昇しているとのことですが、年齢階層ごとに見ると市川市は全国と比較してどのような傾向があるのでしょうか。</p>
地域包括支援課長	<p>全国と市川市を比較した年齢階層ごとの認定者率のデータについて確認し、今後、分科会などで報告いたします。</p>
久保木委員	<p>「在宅医療・介護連携の推進②」についてです。訪問看護事業所、居宅介護支援事業所における連携ツールの活用割合が記載されており、「訪問介護事業所」の表記もありますが、目標値は訪問看護となっています。</p>
地域包括支援課長	<p>「訪問介護事業所」は誤記載です。訪問看護事業所と居宅介護支援事業所の2つを合わせた割合です。</p>

丸谷委員	<p>生活支援サポーター養成研修についてですが、目標値が低く設定されているように思います。その理由を教えてください。</p> <p>また、団体に所属せず、地域で活動している方も多いのではないかと感じます。</p>
地域包括支援課長	<p>生活支援サポーター養成研修を修了した方も、なかなかその後の活動に繋がらないという実態を踏まえ、記載の目標値としております。</p> <p>昨年も生活支援サポーター養成研修終了後、担い手として登録いただいた人数が非常に少なかったですが、担い手として登録せずとも、ご近所の中でお手伝いをしていただける方や、個人でボランティアセンターと繋がる方もいらっしゃいますので、そのような方々も地域福祉活動をしていただく方として捉えていきたいと思っております。</p>
	<p>③第4次いちかわハートフルプラン（市川市障害者計画・第6期市川市障害福祉計画・第2期市川市障害児福祉計画）【2021年度～2023年度】</p>
岸田会長	<p>次に、「③第4次いちかわハートフルプラン（市川市障害者計画・第6期市川市障害福祉計画・第2期市川市障害児福祉計画）【2021年度～2023年度】」について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
障がい者支援課長	<p>(資料1-③-1から資料1-③-9に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。</p>
石原委員	<p>権利擁護体制について、地域で生活をしている障がい者や障がい児がたくさんおられますが、相談支援専門員の数が地域に足りておりません。相談支援専門員がいない場合は、セルフプランを作成することになりますが、市川市にもそのような方がたくさんおり、このような現状において、基幹相談支援センターの役割はたいへん重要であると考えております。</p>
障がい者支援課長	<p>相談・権利擁護体制の確立については、引き続き関係機関と協議を進めてまいりたいと考えております。</p>
村山委員	<p>障がい者スポーツ事業についての評価がCとなっておりますが、これは新型コロナウイルス感染症の問題なのか、あるいは障がいのある方向けに実施をしたスポーツがニーズに合っていないのでしょうか。</p>

障がい者支援課長	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、指導者の不足も影響しております。人材不足は難しい課題ですので、内部でも検討し、より良い方向に向けて事業を進めてまいります。</p>
村山委員	<p>ぜひニーズを把握したうえで進めていただきたいと思います。例えば千葉市ではバスケットボールに参加をされている方のお話をよく聞きます。</p> <p>また、障がい者スポーツは全国的にも推奨されている一方、重度の方向けのスポーツメニューはありません。</p> <p>サークル活動をしている方も、大人になった時には活動が途切れてしまうこともあります。水泳のサークルでも、プールが借りられないためサークルが無くなってしまった事例もありますので、大人も社会参加を楽しめるような環境を整えていただきたいと思います。</p>
岸田会長	<p>指導者や場所、保護者が連れていく場合のサポート問題を含め、複数の問題が関わっておりますので、そのような問題についてぜひ一度ご検討ください。</p>
<p>(2)令和6年度地域密着型サービス等の整備について</p>	
岸田会長	<p>次に、議題(2)「令和6年度地域密着型サービス等の整備について」について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
介護保険課長	<p>(資料2に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。</p>
村山委員	<p>看護小規模多機能型居宅介護の整備が進まない原因を教えてください。</p> <p>また、介護医療院についても、第8期の計画では既に市内に120床分が整備され、今後整備を見込まないと記載されておりますが、医療的ケアが必要な方が今後増えた場合は、整備が見込まれるのでしょうか。</p>
介護保険課長	<p>整備の着手が進まない原因はさまざま、人員や場所の確保などの複数の要因があります。その中でも、現状は事業者からの問い合わせが以前より多くなっており、施設の開設に対する期待は高く、公募を持続的に行うことが、施設の確保に繋がると考えております。</p> <p>ニーズに基づいた施設整備が必要ですので、医療的ケアが必要な方が増えているかどうかを把握し、また、整備が進んでいないという現状を踏まえ、第9期の計画策定に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。</p>

岸田会長	<p>看護師を集めることはハードルが高いですが、きちんと看護が行える施設は必要ですので、ぜひお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(3)その他</p>
岸田会長	<p>それでは議題(3)「その他」に移りますが、本日「その他」の議題はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>本日、その他の議題はございません。</p>
岸田会長	<p>ありがとうございます。それでは、令和5年度第2回市川市社会福祉審議会を終了いたします。</p>

(15時30分閉会)

市川市社会福祉審議会
会長 岸田 宏司